

(4) 調査の回答について

調査票の回答は抽出された児童の保護者に依頼する。調査の回答に当たっては、原則として抽出された児童について回答を求める。

なお回答に当たっては、個人を特定する必要はないので、原則無記名とする。

(5) 調査項目

家族構成・親の就労状況・身内や地域でのインフォーマルな支援等、個々の家族状況と、サービスの利用実態を中心に把握する。さらに、「潜在的なサービスニーズ」を把握するために、サービスの利用希望や就労等に関する希望も把握する。モデル調査票の様式に依る必要はないが、目標事業量の数値は国から提供を依頼されることを念頭に置いて調査項目の設計をする必要がある。

(6) モデル調査項目例(モデル調査票別添)

1. 基本属性	(1)	子どもの人数
	(2)	末子の年齢
2. 家族類型作成のための項目	(3)	調査対象となる子の年齢
	(4)	父親の就労状況 : 就労の有無、就労形態、就労時間または帰宅時間
	(5)	母親の就労状況 : 就労の有無、就労形態、就労時間または帰宅時間
	(6)	祖父母の同居・近居状況
	(7)	日頃、子どもを預かってもらえる人の有無(祖父母、友人・知人等)
3. サービス利用率算出のための項目	(8)	対象となる子の現在の各サービス利用の有無(個別サービスの利用状況)
	(9)	対象となる子についての育児休業の取得状況(父親・母親)
4. サービス利用者の利用量算出のための項目	(10)	① 保育サービスの利用時間・利用頻度 ② 育児休業取得期間、復帰時の子どもの月齢、育児休業明けの保育サービスの利用状況
	(11)	① 保育以外のサービスの利用頻度 ② 保育以外のサービスの利用目的等
5. サービス未利用者の利用希	(12)	(未利用者の)サービスを利用していない理由